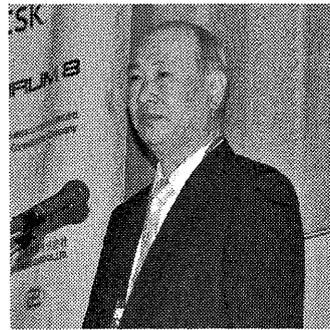


佐藤直良国土交通省顧問

国土総合管理へ「センター」を 講演で設置の必要性訴え



佐藤直良国土交通省顧問(前国土交通事務次官)は7日、土木学会とアジア土木情報学グループが東京都内で開いた第1回土木建築情報学国際会議で「社会インフラ管理の展望」と題して講演した。佐藤氏は「部分最適の設計をするのではなく、維持管理を考慮して造るといふ、発想の転換が必要」と指摘。社会資本管理シ

ステムと国土管理情報システムとが相まった「新しいマネジメントシステム」の枠組みの構築を図っていく準備を進めている」と話すと

もに、国土の総合的な管理にあたる「国土保全情報総合センター」の設置の必要性を訴えた。写真。講演の中で佐藤氏は、国土省が推進しているCIM(コンストラクション・インフォメーション・モデリング)について、計画、調査、設計の段階から3次元モデルを導入し、段階ごとに情報を追

加・充実させることで「最終的に長い年月にわたるインフラの機能を発揮するよう情報を加え管理していくものだ」と説明。また、これからの社会インフラの管理は「時間的な広がりや空間的な広がり、社会的効用の要素も取り入れていく必要がある」と語った。

3次元データを導入することで、維持管理段階で何らかの異常が発生した場合には、施工段階、設計段階へと上流にさかのぼって▽品質管理▽材料▽設計のどこに改善が必要かチェックできるようにするため、「仮想のストレステストも可能になる」と解説した。佐藤氏はさらに「平時と災害時の一体化がキーワード」と主張。進歩

する画像処理技術など各種の新技术を使い、施設の経年変化を3次元データベースで追跡していくことにより「大災害時には、国土管理とインフラ管理の連携がクライシスマネジメントと初動対応に大きな役割を果たす」と述べ、国土全体を総合的に管理するプラットフォーム

【建設ICT】

- | | | | |
|---------|--------|--------|-------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 | 4. 日経 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 毎日 | 5. 日経 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 7. 毎日 | 6. 日経 |
| 10. 中部経 | 9. 朝日 | 8. 毎日 | 7. 日経 |
| 13. 建設通 | 10. 朝日 | 9. 毎日 | 8. 日経 |
| 16. 建設工 | 11. 朝日 | 10. 毎日 | 9. 日経 |

平成25年11月19日(朝)・夕 P4

ームの必要性を強調した。その上で、次世代のインフラマネジメントを実現するため、土木、機械、電気など専門分野ごとのメンテナンスの仕組みを確立しながら「トータルで社会インフラのメンテナンスをつかさどる体系を構築する必要がある」とした。